

# たがじょう

## 市議会だより

東豊中学校環境戦士  
エコレンジャー

第3回定例会結果報告

あんなこと、こんなこと議論の足跡

決算 賛成・反対討論

一般質問

行政視察報告

追跡レポート 仮設住宅は、今…

No.81

平成24年(2012年)  
11月1日発行

# 決算議会

## 23年度は、国・県の財政支援で

## 大幅な黒字決算に！

しかし、借金増加に自主財源確保という課題が

九月十二日から二十七日まで、十六日間の会期で第三回定例会を開催しました。今議会の焦点は、平成二十三年度決算の審査でした。市民の税金がどのように使われ、その結果

どのような成果を生み出したか、審査しました。そのほか、条例六件、補正予算案六件の審議も行いました。（関連記事二～八頁）

■多賀城市名誉市民条例の改正↓  
名誉市民の待遇を見直し、年間五十万円の終身年金の廃止を全会一致で可決。

■災害公営住宅整備事業特別会計の設置↓  
災害公営住宅整備事業を国の支援により有利に進めるため、特別会計の設置を全会一致で可決。

### 一般会計及び特別会計決算

単位:円

区分	歳入決算額	歳出決算額	差し引き額
一般	39,269,852,825	37,530,716,185	1,739,136,640
国民健康保険	6,400,377,620	6,156,162,992	244,214,628
後期高齢者医療	357,476,020	356,479,917	996,103
介護保険	3,128,767,350	2,904,034,823	224,732,527
下水道	3,801,857,275	3,557,716,654	244,140,621
合計	52,958,331,090	50,505,110,571	2,453,220,519

### 水道事業会計決算

単位:円

区分	収入	支出	差し引き額
収益的収支	1,589,647,399	1,684,532,802	△94,885,403
資本的収支	139,518,077	581,292,798	△441,774,721

### 財政状況

区分	23年度	22年度	備考
財政力指数	0.716	0.724	1.000に近いほど財政力がある
経常収支比率	120.1%	97.1%	80%を超えると財政の弾力性が失われる
公債費比率	12.7%	12.1%	10%を超さないのが望ましい

### 財政健全化判断比率<sup>※2</sup> (水道、下水道会計を除く。)

実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率	基準	備考
-	-	9.5%	16.1%	13.10%	黒字のため「-」表示
-	-	9.7%	17.1%	18.10%	黒字のため「-」表示
				25.0%	
				350.0%	

■復興産業集積区域内の固定資産税、都市計画税を免除する条例↓企業立地や資本投資を促進するため、全会一致で条例設置を可決。

次の三件の陳情を議会に報告

請願・陳情

●地球温暖化対策に関する「地方財源の確保・充実する仕組み」の構築を求める意見書の採択を

〔要旨〕地球温暖化対策に要する地方の財源を確保するため、標榜の意見書を採択してください。

●市議会議員を定年制に〔要旨〕公的仕事に就く人が年齢や経験の長さをもってその任に当たることは、時代遅れを招くことがあります。立候補時の年齢を七十五歳までとしてはいかがですか。

### ●市民への防災連絡

市内五十三カ所に防災無線の拡声装置を設置しましたが、それだけで安心はできません。各地区の区長や防災担当者にも連絡ができるよう、二重三重の連絡方法を考えてください。また、公園が一時避難所に指定されていますが、災害の種類によっては、かえって被害を大きくすることもあります。議会で検証してください。

※1 市税や固定資産税など、市が独自に徴収するお金

※2 4つの指標のうち、1つでも基準（早期健全化）を上回ると、市は健全化計画を作成し、財政の見直しを行う。

# さざんか家の 家計簿



平成23年度の普通会計決算を年収500万円の家計にしてみると…

## 収入

- 給料（市税）  
69万円



- 親からの援助（交付税・国庫支出金）  
306万円



- ローン借入（市債）  
35万円



- パート収入（負担金・使用料諸収入）  
15万円

- 預金取り崩し（基金繰入金）  
17万円



- 保険金（震災復興特別支援金）  
45万円



- その他（寄付金・財産収入）  
13万円

## 支出

- 食費（人件費）  
47万円



- 医療費・教育費（扶助費）  
55万円



- 生活費（普通建設事業費・維持補修費）  
172万円



- ローン返済（公債費）  
29万円



- 子どもへの仕送り（繰出金）  
61万円



- 貯金（積立金・繰越金）  
103万円

- 災害による大規模修繕（災害復旧費）  
20万円

- その他（投資及び出資金・貸付金）  
13万円



※平成23年度は、決算総額や内訳が例年と大幅に異なるため、前年度とは比較していません。

- 収入のうち、親からの援助（交付税・国庫支出金）が突出しているのは、震災による復旧のための国、県からの支出金や交付金等が増加したためです。（災害関係国庫補助168万円）
- 支出のうち、生活費（普通建設事業費・維持補修費）には、ガレキ処理費等の災害関連費用が含まれているため、金額が大きくなっています。
- 貯金（積立金・繰越金）の金額が大きいのは、主に次年度以降の復旧復興事業等に充てるための積み立てによるものです。

# とことん議論の足跡

あし あと

各議員は、市長の提出案件が市民生活にどのように影響するのかを、ひとつひとつ質疑をとおして確認し、議論を深めていきます。

決算議会では、市長等と議員との間で、次のような質疑応答が行われました。

## 防災会議に女性の登用を

質 本市の防災に関する重要事項を審議する防災会議に、女性の登用を考えていますか。

答 震災時の多様な問題解決のためには、男女を問わず、あらゆる意見を聴くことが必要と考えています。

※防災会議とは

防災に関する重要事項（地域防災計画等）を審議するところ

## 単年度黒字の要因は

質 二十三年年度の決算を分析すると黒字決算となっておりますが、その要因はどのように考えていますか。

答 東日本大震災の影響で市税が課税免除、減免措置などで減収となりましたが、補填として震災特別交付税や国、県からの補助金等が増加したためです。

## 民間借り上げ住宅の延長は

質 民間借り上げ住宅（みなし仮設住宅）の延長は可能ですか。また、入居者が抱えている諸問題にどう対処しますか。

答 一年延長になりましたが、貸主に再契約の意向を確認した上で入居

者に連絡し、再契約をします。現在、入居者が抱えている諸問題については、個別相談を行い改善してまいります。

## 病後児保育は

質 病後児保育事業は、今後拡大するのですか。

答 下馬みどり保育園での定着を図り、その後ほかの保育所での拡大を検討します。

※病後児保育とは

病気等の回復期にある一歳から小学三年生までの児童を、保護者の事情で家庭での保育ができない時に看護と保育をするものです。

## 中央公園の復旧

質 災害廃棄物の仮置き場だった中央公園の復旧では、土壌の検査を行ったのですか。

答 今後調査を行う予定です。

## 防災広報装置整備事業

質 震災後、市内六カ所にモーターサイレンが設置されましたが、実際に使用した訓練を行いますか。

答 十一月五日の「津波防災の日」に合わせ実施します。



下馬みどり保育園

# あんなこ こんな

## 災害用備蓄品の整備について

質 主食となる乾パン類の備蓄量がひとり一日二食の三日分では、十分ではないですか。また、重要備蓄品である粉ミルクが備蓄されていないのではないですか。

答 乾パン類をひとり一日二食（一万二千人分）の三日分を堅持します。粉ミルクについては、備蓄品五カ年計画（平成二十四年度～二十八年度）を策定し、その中の品目に入れます。

## 行財政改革について

質 行財政アクションプランにより進めてきましたが、その成果が現れていないように思われます。さらに大胆かつ効果の大きい事業の絞り込みが必要ではないですか。

答 現在、新しいアクションプランの策定に向け検討しています。

※行財政アクションプランとは

従来型の削減を主とした行政改革にとどまらず、納税者である住民と情報を共有しながら、より効果的・効果的な公共サービスを設計し、役割分担や負担のあり方を住民と一緒に考えていく地域経営の視点などを取り入れた行動計画（平成十七年～二十二年度）

## 子育てサポートセンターの事業拡充を

質 現在、サポートセンターの事業のなかで、大代地区公民館等での出前講座は可能ですか。

答 はい。出前遊び講座、読み聞かせなど実施しています。今後も積極的に地域に出たいと思います。



粉ミルクも備蓄品に

## 特定検診をかりつけの病院でも

質 今後は、近隣の医療機関による個別検診も実施して、受診率を高めるとしています。実施するのでしょうか。

答 関係機関と協議をし、実施できるように検討していきます。

## 学力向上パワーアップ事業

質 冬休みの開催日数は何日ですか。

答 十二月中に三日間開催予定です。（場所は未定）

※学力向上パワーアップ事業とは  
児童生徒の学力向上を図る目的で、平成二十三年度から開始。その一例としては、夏休みに東北学院大学工学部にて「多賀城スコール」として実施。今年度は冬休みも実施予定。

このコーナーに掲載しました質疑の内容は、実際の質疑のごく一部です。

詳しくお知りになりたい方は、お近くの市議会議員にお尋ねください。

第3回定例会の会議録は、12月上旬に、市立図書館、市役所の情報コーナーでご覧になることができます。また、インターネットでも、ご覧になることができます。

## 避難所での食事提供

質 震災後の避難所において、お弁当の支給が始まったのは、5月です。炊き出しなども含め、もっと素早く対応すべきではなかったでしょうか。

答 発災直後は、避難所の人数も多く、食材の調達も困難で、十分な食事の提供はできませんでした。今後、適切な対応がとれるよう努力します。

決算

## 賛成・反対討論

決算特別委員会での審査の後、平成二十三年度決算の認定をめぐり、三人の議員が賛成・反対の討論を行いました。要旨は次のとおりです。

反対

千年に一度の震災に  
ふさわしい対応であったか

柳原 清

日本共産党

多賀城市議団

の報道もあります。大きな問題  
では正を求めべきです。

大震災直後の平成二十三年度は通常の倍の四百億円近い規模となりました。まず初めに不眠不休で被災者の救援、支援、復興に奮闘した職員のみなさん、全国からのご支援に心より敬意と感謝を申し上げます。

政府は十九兆円の復旧復興予算を組みました。これは被災一世帯あたり一億円にあたる規模ですが被災地にその実感はありません。また二兆円もの金額が震災と関係なく使われていると

被災者支援でまず指摘したいことは、市の姿勢が千年に一度の大震災に相応しくないということ。私どもは当面使う当てるの二十億円の土地開発基金を思い切って被災者支援に使すべきだと主張し、一部損壊家屋・事業所への支援、宅地かさ上げへの支援等を求めましたが極めて不十分なものでした。結果、土地開発基金は一円も使わず、財政調整基金に十億近くも積み増しました。

まちづくりでは、西部地域の雨水の大半が集中する地域（一本柳）に工業団地を造るべきではありませんし、工業専用地域

の住宅地（宮内）はこの際解消すべきでした。仙台港に流すべき雨水を桜木地域に流し、被害を拡大させたことは重大です。子育て支援は依然不十分であり、国保会計への繰り入れは約束どおりすべきです。

以上、震災対応でのご奮闘に

敬意を表しつつも問題点を指摘し討論とします。

通水の開始時期のばらつきはあったものの、宮城県沖地震に備えて、市民の皆様に対して安心、安全に水を供給するため受水量の大きい市川、末の松山浄水場の各施設の耐震化をすでに実施、完了したことを大いに評価します。

三月十一日の震災は多賀城市に甚大な被害を与えた一方、人々の価値観や生き方、行動に大きな影響を与えました。被災者のニーズの変化に必要とされる多様な外部支援の導入もありました。しかし、平成二十五年以降の自主財源の確保については、ここ一年で求められていくのではないかという課題もあります。

平成二十三年度各会計当初予算の成立は震災の前日の三月十日でした。誰もが予想だにしないような大地震と津波、混乱の日々が続きました。

震災の被害が甚大でありながらも復旧・復興を最優先とし、宮城県が設置する第二次仮置き

賛成

復旧・復興最優先の姿勢を評価

米澤 まき子

自由民主党

多賀城市議団

場への運搬・処理コスト等の軽減を図るため、中間処理施設の早期稼働、また、多賀城市震災復興計画における復興基本事業の「被災者の生活再建支援と住居地の確保支援」において（仮称）第七小学校用地を災害公営住宅への用途変更は評価するものです。

次に水道事業会計決算についてですが、三月十一日の発災からライフラインが全面遮断という、特に水の有り難さを痛感した日々でもありました。

自治体機能の復活が復興の鍵ともいわれる中、被災された最後のおひとりご生活再建できているのか。全力をつくすことをお願いして賛成討論とします。

平成二十三年度各会計当初予算の成立は震災の前日の三月十日でした。誰もが予想だにしないような大地震と津波、混乱の日々が続きました。

震災の被害が甚大でありながらも復旧・復興を最優先とし、宮城県が設置する第二次仮置き

# 賛成

被災者に寄り添う姿勢を評価

松村敬子

公明党

震災直後の二十三年度決算は、一般会計・当初予算の約二倍の三二億七千万円の予算規模となりました。その主な理由は復旧、復興事業対応による国、県からの補助金や震災復興特別交付金によるものです。一般会計、特別会計の実質収支は約十八億円の黒字ですが、震災による国からの補助金や交付税措置、予定事業の休止、寄付金等によるもので、今後、事業の確定により返還も伴うことから、単純に喜べる決算とは言えない状況です。

税収ですが、前年度に比較すると約二四ポイント低下しており、この状況はますます深刻になると懸念されます。今後、健全財政運営にむけ、補助金や交付金の積極的活用と自主財源の確保に向けた行政運営に特段のご努力をお願いします。

二十三年度の主な事業の評価

として、まず、災害から市民を守るため防災広報無線を市内一円に設置を図り、被災者生活再建事業の取り組みはもとより、被害を受け、全く支援のない一部損壊者へ、「被災住宅補助事業」、被災小規模事業者に対し再開に要した経費の一部を補助金支援する「被災事業者再建支援事業」を本市独自の事業として実施しました。また、震災復興企業立地支援事業を立ち上げ、「中小企業等グループ施設等復旧整備補助金制度」の適用の要望等行い、総額七十二億の補助金を受け、その他、新たな産業創出拠点「みやぎ復興パーク」への事業者入居支援、斡旋に尽力されましたことを評価します。

最後に、自主財源確保にむけ、観光産業創出への特段のご努力をお願い申し上げます、賛成討論とします。

# 私もひと言

議会を傍聴した皆さんからの感想や意見です。

もっと議論の場を

阿部 孝司さん

(高橋在住)

市の西部地域に関する一般質問であったが、市全体の見直しが必要なきときはあるが、新田、高橋地区は、農業を生業としてできあがった地域で、住民の結びつきが強い地区です。その考えを基に議員は質問していました。市側と議員とで議論の場はないのでしょうか。

決算特別委員会を傍聴して

鈴木太賀夫さん

(高橋在住)

議員と市との応酬は、事前質問に対する申し合わせがないからか、緊張感が伝わってききました。

議員の質問内容と市長答弁に対する再質問の姿勢に、議員の資質がみえてきます。

# 議会からのお知らせ

災害発生時の対応要領をつくりました。

三・一一東日本大震災では、各議員が個々の判断により様々な活動をしておりましたが、今後は、議会全体として情報を共有し、より迅速かつ適切な対応を図るため、災害発生時の「対応要領」と「行動マニュアル」を策定しました。

【対応要領で定めていること】

市の災害対策本部へ協力するための支援本部設置、情報の共有化、被災場所や避難所の現状調査など

【行動マニュアルで定めていること】

議員の参集基準、参集時の服装や携行品、交通手段など

## 第4回の定例会の会期日程は

12月に本年最後の定例会を開催します。会期日程は、平成24年12月12日(水)から19日(水)の予定です。会期等の最終決定は、12月7日に開催される議会運営委員会で決まります。詳しくは議会事務局におたずねください。

## 議会を傍聴してみませんか。

あなたが選挙で選んだ議員が、議場でどのようなことを発言しているのか聞いてみませんか。手続きは簡単。申し込み書に住所とお名前を記入するだけです。

みなさんの傍聴をお待ちしています。

# 第3回定例会 各議員が出した結論は



## 市長が出した議案

- 1 小学校に駐車していた車を破損したことに對する和解と損害賠償額の承認
- 2 教育委員に菊地昭吾氏（留ヶ谷）と今野喜弘氏（高橋）を任命すること
- 3 固定資産評価審査委員に玉川喜信氏（笠神）を任命すること
- 4 人権擁護委員に加川昭氏（浮島）を推薦すること
- 5 名誉市民の終身年金支給等を見直すこと（条例改正）
- 6 職員の勤務時間を変更すること（条例改正）
- 7 職員等の旅費に関する条例の文言を改めること（条例改正）
- 8 災害公営住宅を整備するため特別会計を設置すること（条例改正）
- 9 復興産業集積地域への企業立地等を推進するため、固定資産税等を免除すること（条例制定）
- 10 防災会議条例及び災害対策本部条例を改正すること
- 11 平成23年度一般会計決算及び各特別会計決算の認定
- 12 平成23年度水道事業会計決算の認定
- 13 一般会計補正予算
- 14 国民健康保険特別会計補正予算
- 15 後期高齢者医療特別会計補正予算
- 16 介護保険特別会計補正予算
- 17 下水道事業特別会計補正予算
- 18 水道事業特別会計補正予算
- 19 災害公営住宅整備事業特別会計予算

案件等の番号	自由民主党							日本共産党				公明党			民	市	新	無	審議結果
	江口 正夫	深谷 晃祐	伏谷 修一	米澤まき子	金野 次男	森 長一郎	吉田 瑞生	柳原 清	戸津川晴美	藤原 益栄	佐藤 恵子	松村 敬子	阿部 正幸	根本 朝栄	雨森 修一	昌浦 泰巳	竹谷 英昭	板橋 恵一	
1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
6	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
7	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
8	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
9	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
10	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
11	○	○	○	○	○	○	○	×	×	-	×	○	○	○	○	○	○	欠	認定
12	○	○	○	○	○	○	○	×	×	-	×	○	○	○	○	○	○	欠	認定
13	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	欠	原案可決
14	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	欠	原案可決
15	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	欠	原案可決
16	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	欠	原案可決
17	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	欠	原案可決
18	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	欠	原案可決
19	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	欠	原案可決

表示の説明 賛成は○ 反対は× 党派名 自由民主党＝自由民主党多賀城市議団 日本共産党＝日本共産党多賀城市議団  
民＝民政クラブ 市＝市民クラブ 新＝新世紀クラブ 板橋議長は公正を期すため無党派になります。  
※表決欄で「-」とあるのは、本会議の議長を務めたことによるものです。



# 第3回 定例会 一般質問



1 スクールソーシャルワーカーの配置  
2 独自の防災教育用副読本の刊行を

市民クラブ 昌浦 泰巳

一問 貧困は潜在的に拡大中。スクールソーシャルワーカーは、子どもが貧困を克服し、学びを確保できる最後のセーフティネットとなる存在です。①市教委は、スクールソーシャルワーカーの重要性をどのようにご認識されておられますか。②市内小・中学校にスクールソーシャルワーカーを配置増すお考えはお有りですか。③すぐの配置増が難しいならば、平成二十五年度に向けてご検討をされてはいかがでしようか。

も見守りたいと思います。  
二問 防災教育を児童・生徒に学んでもらい、震災に備えるべきとの考えから、①本市独自の防災教育用副読本を刊行する予定でしょうか。②石巻市では「みらいへつなぐ」という副読本を既に刊行されています。本市の取り組み状況は、どのようなものでしょうか。



一問 ①入居の選考にあたって、コミュニティの再構築のため、入居時に元の地区毎のグループ化、高齢者等の優先枠が考慮されているのでしょうか。②また、入居後の自治会組織作りへの支援策をどのように考えていますか。

す。また、高齢者や身体障害者等の世帯で、移転に要する資力がなく、親族等の援助も見込めない場合、ボランティアの協力を得て支援することになっております。  
三問 孤独死の防止及び健康ケアのための専門的資格を持った支援要員による見守りサービスや自治会、民生委員等との連携による総合的な見守り活動の充実について、どのように考えていますか。



桜木地区災害公営住宅の  
基本構想等について

自由民主党 江口 正夫

一般質問





日本共産党 柳原 清

## 1 保育所待機児童解消を 2 保育所給食の放射線測定

**一問** 共働きの増加や核家族化の進行により、保育所待機児童が増加している。現在本市の待機児童は、一〇八名に上っている。待機児童解消の方策を示してください。

**答** 本市では、これまでも民間保育所の新設や増改築による定員枠の拡大、入所定員の弾力的運用等により、待機児童の解消に努めてまいりました。今後とも私立保育所や認可外保育施設との連携を強化し、児童の入所調整等について協力をお願いしてまいります。また、待機児童一〇八人のうち三歳未満児が九十五人と、全体の九割近くを占めている状況にあり、三歳未満の乳幼児の新たな受け皿となる「認定こども園」への移行について、私立幼稚園と意見交換を行いながら検討を進めてまいります。

**二問** 八月より、公立保育所の給食の放射線測定が毎日行われるようになったが、民間保育所では、月一回仙台での測定のみです。公立・民間と区別せず、毎日測定をしていただけないでしょうか。また園庭の土壌の放射線測定を行ってください。

**答** 保育所給食の放射線検査については、現在検査機器一台で対応しており、検査回数に限られることから、学校給食と公立保育所分の給食のみを実施しておりましたが、この度、もう一台検査機器が貸与され、私立保育所の検査も可能な環境が整いましたので、現在、私立保育所と調整を進めております。

また、各保育所の空間放射線量測定値が、除染が必要とされる毎時〇・二三マイクログロシーベルトを大きく下回っていることから、現在のところ園庭土壌の放射線検査は考えておりません。



給食の放射線測定の様子 (東北緑化環境保全 (株) にて)

## 一般質問



日本共産党 戸津川 晴美

## 1 奨学金制度の創設を 2 就学援助制度の改善を

**一問** 県内で独自の奨学金制度がないのは、本市のほか、三市一町のみであり、残りの三〇自治体では、すべて実現しています。子どもが高校生になれば打ち切られる就学援助受給世帯も考慮し、利用しやすい奨学金制度が必要であると思いますがいかがでしょうか。

**答** 現在のところ市独自の制度を創設する考えはございません。なお、国の政策として、平成二十二年から公立高校授業料無償制・高等学校等就学支援金制度が実施されており、家庭の状況にかかわらず、全ての意志ある高校生等が、安心して勉学に打ち込めるよう、家庭の教育費の負担軽減が図られております。また、支援が必要とされる方は、平成十七年度に旧日本育英会から宮城県が移管を受け、新たに創設した「高等学校等育英奨学金貸付制度」や宮城県社会福祉協議会が実施しております「生活福祉資金貸付事業の教育支援費」の利用ができることとなっております。

**二問** 就学援助の申請にあたり、民生児童委員の所見が必要となっていますが、世帯の収入を示

す書類を提出するのですから、民生児童委員の所見は必要ないのではないのでしょうか。

**答** 申請書類だけでは読み取れない世帯の状況等があることから、適正な認定を行うために意見書を付していただいているところです。また、民生児童委員に、担当する地域の児童生徒の家庭状況を把握し、その家庭をサポートしていただくためにも、民生児童委員の意見を聞くことは必要であると考えております。





- 1 被災者支援
- 2 まちづくり
- 3 太陽の家の運営見直し
- 4 記念事業

日本共産党 藤原 益栄

一問 宅地かさ上げへの助成は、海抜〇・七メートル未満という制限を取り払い、津波被災地域全域に広げるべきと考えます。答 制度拡充の検討は行っておりませんが、新たな本市独自の被災者支援制度の検討をしております。

二問 ①治水環境を悪化させないために、一本柳地区は引き続き水田として利用すべきと考えます。②宮内地区は工業専用地域とすべきと考えます。③山王駅付近に良好な住宅地を提供すべきと考えます。

答 ①地域雇用、地域経済を大きく牽引し、復興へと結びつけるべく、産業復興の拠点形成を目指すこととしたものであることをご理解願います。②工業専用地域に変更する考えはございません。③市街化区域へ編入し宅地とする考えはございません。

三問 六〇人定員の太陽の家は、在席四一名中健常児九名で、混合保育は機能しない状態です。財政的にもほとんど市の負担であることから、認可施設にすべきと考えます。

答 太陽の家を、児童発達支援



建立1,250年となる「多賀城碑」

センターとし、地域療育体制を整備することについて検討中であり、年度内には、一定の方向性を示したいと考えております。

四問 ①今年が多賀城碑建立一二五〇年にあたって、記念事業はしないのですか。②来年は多賀城海軍工廠開設七十年です。市として展示をすべきと考えます。

答 ①まだまだ震災復旧に関わる諸事業を最優先にせざるを得ない状況です。②十二月八日から、史遊館にて「(仮称)多賀城海軍工廠とその時代」と題して、速報的に展示公開するよう、準備を進めております。

一般質問



- 1 災害公営住宅について
- 2 空き家対策について
- 3 財政について

自由民主党 森 長一郎

一問 今後、整備される災害公営住宅について、デイサービスやグループホームなども下階層に入れる等、福祉拠点化してはいかがでしょうか。答 桜木地区の災害公営住宅については、福祉関連施設を併設し、高齢者から乳幼児まで安心して利用できる施設とするという基本的な方針を定めております。高齢者の方々も安心して住み続けていただける住環境の確保に努めてまいります。

二問 環境整備、町おこし、地域再生等を目的とした空き家対策が必要であり、他都市に学び、積極的な空き家対策を講ずるべきと考えますが、当局の認識を伺います。答 中山間地で人口の定住促進や就農促進を目的にした空き家の利用や、都市部における老朽密集市街地の再開発を促進するための先行買取という形で空き家や空き地を買い取るケースもございますが、本市とは環境、条件が異なるため、現段階で買取や寄付などによる空き家対策を講じる考えはございません。

三問 国会での特例公債法案の成立の見通しが立たず、総務省



空き家対策に苦慮する奥尻町

は、九月四日に予定した地方交付税の交付を延期した。このことによる、市財政への影響を伺います。答 九月四日に震災復興特別交付税が約二八億円交付されており、すぐには現金不足に陥ることはございませんが、普通交付税の十一月交付分がどのようになるのか不明であるため、今後の国政の動きなどに注意を払い、関係機関等に対して地方財政に影響が生じることのないよう訴えてまいります。



自由民主党 金野 次男

1 自転車道の整備を  
2 防災訓練  
3 震度計

一問 都市計画道路・清水沢多賀城線（城南二丁目から八幡一丁目）、笠神八幡線（陸上自衛隊多賀城駐屯地内西側）、二路線へ自動車・自転車・歩道と区分して、安全な交通環境を設計段階から計画すべきと思います。いかがでしょうか。

答 この二路線は、事業費削減を図るため、復興庁から道路幅員縮小の検討を求められており、自転車道設置の可能性は極めて低いものと思われます。限られた幅員の中で、路側帯を着色する等の方法での自転車レーンを設置する方向で、関係機関と調整を図りたいと考えております。

二問 東日本大震災の教訓を生かした今後の防災訓練の取り組みを検討されてはいかがでしょうか。

答 平成二十五年度から、様々な事態を想定した訓練を、自主防災組織や学校と連携を進めながら実施する予定です。なお、今年度は、十一月五日が「津波防災の日」と定められたので、同日に広報訓練を実施するよう準備を進めております。

三問 本市の震度計は、平成二十一年東庁舎地下から、市民活

動サポートセンターへ移転されたが、近傍区・市・町との震度差がデータで確認されている。再度検証するべきではないでしょうか。

答 震度計が設置してある地盤が各市町とも必ずしも同一でないため、公表震度に差が出る場合があります。本市の震度計は、宮城県と気象庁立会いの下、現在の設置場所が「適地」ということで、平成二十二年一月に設置したばかりのものであり、設置場所の変更は難しい状況にあります。



自動車道、自転車道、歩道と分離されている（大阪府堺市）



自由民主党 深谷 晃祐

1 多目的調整池の整備  
2 西部地区に災害公営住宅の整備を  
3 今後の社会問題

一問 高橋地区の暫定調整池を多目的調整池として活用してはどうかでしょうか。また、桜木保育所の跡地も、多目的調整池として活用をされてはどうかでしょうか。

答 高橋地区の暫定調整池について、将来的には、地区の要望等を勘案して、調整池としての機能の有無を含め、本来の近隣公園としての整備計画を検討します。また、桜木保育所の跡地は、現段階で将来の利用計画は未定であり、今後、どのような利用が望ましいかを検討してまいります。

二問 新田浄水場の今後の利用方法として、コミュニティセンターを兼ね備えた災害公営住宅を整備してはどうかでしょうか。

答 これまで議会からも提起をいただいております。仮設住宅にお住まいの方々から同様の意見が寄せられたことを受け、新田浄水場用地へ災害公営住宅を建設したいと考えております。コミュニティ施設については、今後、具体的に検討してまいります。

三問 いじめ等が社会問題となっており、多賀城市教育委員会はどのような対策を講じて

いるのか伺います。また、対策の結果をどのように検証しているのか伺います。

答 いじめの実態については、各学校より毎月報告を受けており、いじめられたと認知する児童生徒の立場に立って、指導に当たっており、集団としてのよい良い価値をしっかりと身につける指導が大切であると考えます。また、インターネットへの書き込みやメールによるいじめも散見されますが、これは学校での解決が難しいことから、警察を含めた外部機関と連携してその解決に努めてまいります。





公明党 根本 朝栄

乳幼児医療費助成制度の拡充を

一問 ①現在の対象年齢が、入院・通院ともに未就学児童までとなつていますが、小学校六年生まで入院・通院ともに拡充を図つてはいかがですか。②所得制限についても、仙台市及び利府町と同様の設定をして、対象者の拡大を図つてはいかがですか。③拡充する財源については、現在、市で検討している太陽の家のあり方について、法の基づく障害児施設にした場合、かなりの財源が浮くと思われませんが、その財源を活用してはいかがですか。

答 ①③（関連があるため一括回答）平成二十一年四月から通院に対する対象年齢を三歳から小学校入学前までに拡大し、単独財源を充てて実施してまいりました。近年、助成を拡大する市町村が増えていることも承知しておりますが、現在、本市では災害復旧・復興を最優先の課題として取り組んでおり、現段階で更に単独財源を確保することは大変厳しい状況にあります。

しかし、少子高齢化が進む中、子育て支援と若い世代の定住化を図るといふ観点から、同事業を充実させることは大変重要なことであると、認識しておりますので、ご提案いただいた対象年齢の拡大等については、国や県に対する制度の拡充を、これまでどおり強く要望していくとともに、近隣市町の動向を勘案しながら、前向きに考えたいと思います。

なお、必要な財源を太陽の家の運営変更により生み出し、とはいかがかという提案については、昨日、藤原議員のご質問にお答えしたとおり、太陽の家のあり方について、年度内には、一定の方向性をお示ししたいと考えておりますので、ご理解願います。



一般質問



自由民主党 米澤 まき子

1 多賀城市からエリアメールを  
2 のら猫対策を

一問 ①災害時の有効な情報伝達手段として取り入れられたエリアメールが、先日、津波警報が発令され配信されましたが、携帯会社が特定されており、全ての携帯会社に配信できる取り組みを検討していただけないでしょうか。②八月十九日深夜JXで火災発生、的確な情報がないうち、大代地区住民は、三月十一日の不安がよぎった。緊急時の企業側からのエリアメール・QRコードによる配信が可能か伺います。

答 ①現在、エリアメールは携帯電話会社一社と契約を結び対応しておりますが、残る大手二社とも、緊急速報メールの導入準備を現在進めており、できるだけ早期に導入したいと考えております。②災害の程度に応じて連絡手段や方法を選択することも必要と考えております。今後、どういった方法が安全・安心をより高めることに繋がるかを地域の皆様と話し合いながら、検討してまいりたいと思っております。

二問 地域を悩ませている「飼い主のいない猫」の問題があります。「あちこちにフンをして



大代地区の野良ネコ

困る」等、問題を引き起こす原因として、猫が増えすぎたことが考えられます。地域住民だけでの解決に限度があり、増えすぎないようにするため市民全体が取り組める対策について伺います。

答 広報多賀城九月号に、飼い主のいない猫を含む野生動物に、むやみに餌を与えないことをお願いする記事を掲載し、啓発に努めております。今後とも、生まれてきたペットの生命の大切さを十分に意識していただき、安易に捨てることのないよう、啓発活動を強化してまいります。



日本共産党 佐藤 恵子

- 1 子ども医療費無料化の拡充を
- 2 多賀城駅高架下活用
- 3 道路安全対策

一問 震災の影響もあり市内の若い世代の収入が減少する中で、子どもの医療費の負担は家計を圧迫しています。国保は来年三月まで無料化が延長されましたが、健保は本年九月で打ちきりとなります。継続的な治療を受けている子どもの家庭からはもとより、子どもの医療費の無料化拡充を求める声は強い。市長はこうした声にこたえて、子ども医療費の無料化拡充に踏み出すべきと考えるがいかがでしょうか。

答 (根本朝宋議員、一問回答に同じ)

二問 多賀城駅高架下の活用について、①どのような活用を考えているのでしょうか。②今後の活用の考え方については、地元商工会仮設店舗入居者、市民の声をよく聞き、被災者の営業再建のためにも活用し、本市の賑わいの拠点としてください。

答 ①②(関連があるため一括回答) 十五%相当部分は、自転車等駐車場、観光案内所及び警察官立寄所の設置を予定しており、本年八月二十日に協定書を締結しました。また、多賀城駅周辺整備事業の大きな目的の一つは、「商業活性の誘導による賑わいの創出」でもあり、地区の事業者や仮設店舗で営業されている方々が高架下を活用できるよう、JR東日本に強く働きかけてまいります。

三問 大代四丁目地内の、市道中峰元線と市道大代線が交差するT字路の見通しが悪く事故が多い。見通しを悪くしている部分を買収し改善してください。

答 用地を取得しての交差点改良を行う必要はないと判断いたしております。



一問 震災の影響もあり市内の若い世代の収入が減少する中で、子どもの医療費の負担は家計を圧迫しています。国保は来年三月まで無料化が延長されましたが、健保は本年九月で打ちきりとなります。継続的な治療を受けている子どもの家庭からはもとより、子どもの医療費の無料化拡充を求める声は強い。市長はこうした声にこたえて、子ども医療費の無料化拡充に踏み出すべきと考えるがいかがでしょうか。

答 (根本朝宋議員、一問回答に同じ)

二問 多賀城駅高架下の活用について、①どのような活用を考えているのでしょうか。②今後の活用の考え方については、地元商工会仮設店舗入居者、市民の声をよく聞き、被災者の営業再建のためにも活用し、本市の賑わいの拠点としてください。

答 ①②(関連があるため一括回答) 十五%相当部分は、自転車等駐車場、観光案内所及び警察官立寄所の設置を予定しており、本年八月二十日に協定書を締結しました。また、多賀城駅周辺整備事業の大きな目的の一つは、「商業活性の誘導による賑わいの創出」でもあり、地区の事業者や仮設店舗で営業されている方々が高架下を活用できるよう、JR東日本に強く働きかけてまいります。

三問 大代四丁目地内の、市道中峰元線と市道大代線が交差するT字路の見通しが悪く事故が多い。見通しを悪くしている部分を買収し改善してください。

答 用地を取得しての交差点改良を行う必要はないと判断いたしております。



公明党 阿部 正幸

- 1 学校教育の充実
- 2 二項道路の取り消し
- 3 私道整備事業

一問 いじめ問題における、本市の取り組みと今後の課題について具体的に伺います。

答 ①教育委員会では、いじめについて、様々な専門機関等と連携を図りながら、その解決に当たっております。また、何よりも大切なことは、早期発見と迅速、適切な指導でありますので、今後とも小さな情報をしっかりと把握する生徒指導体制によって、いじめのない学校づくりをしなければならぬと考えております。

二問 建築基準法第四十二条二項道路の取り消しについて、今後の解決に向けた取り組みについて伺います。

答 平成二十年度に宮城県仙台土木事務所によって行われた見直しにより、多賀城市内では従前の一六八路線の二項道路の内約一〇〇路線の指定が解除されました。これにより、見直し以降の旧二項道路にあつては、後退義務が発生しない宅地が存在し、沿線住民の間で不公平が発生しております。このようなことを受け、再三に亘り再指定について県に働き掛けてまいりましたが、実現には至っておりま

せん。今後も県に強く働き掛けてまいります。

三問 私道整備事業補助金交付規則の緩和・見直しを行い、災害時の避難道路として不便なく使用できるようにしたいと考えますがいかがですか。

答 震災による復旧、復興事業を最優先として進めており、本市の財政状況や他の県内自治体との整合を図る必要があることから、これまでどおりの基準で運用を図ってまいりたいと考えております。



指定が解除された二項道路



1 防災広報無線の改善を  
2 食物アレルギーの給食対応

公明党 松村 敬子

一問 市内全域五三箇所の新設された防災広報無線が「聞こえない、聞き取れない」との多くの声が寄せられていることから、次の点について伺います。①その改善策。②非常放送を組み込んだ防災訓練。③防災情報がドコモのエリアメールだけでなく多くの方々に届くようau、ソフトバンクの緊急速報メール配信と本市の独自「メール配信」の導入。

答 ①職員が現地に出向き、直接音声の確認を行ったほか、スピーカーの方向や音量、あるいはスピーカーそのものの交換を行うなどの調整を重ね、住宅地においては機械計測上、ほぼ全域で聞き取りが可能な状態となっております。ただし、子局同士の音の重なり方等によっては聞きとりにくくなることもあるため、時差放送を導入するなど改善に努めてまいります。②（金野次男議員、二問回答に同じ）③（米澤まき子議員、一問①回答に同じ）



防災広報無線のスピーカー

が実施されていないことから、その児童、生徒は、弁当持参を余儀なくされている。多くの自治体ではすでに実施されている。本市においてもアレルギー対応給食を実施すべきと考えます。

答 最も大きな課題は施設スペースの問題であり、また、専任栄養士、調理師等の制約から、除去食や代替食を提供することは困難な状況です。そのため、食物に含まれるアレルギー成分を献立表に記載し、月ごとの原材料の詳細成分表を記載して保護者の皆様に配付するなど、十分に連絡をとりながら対応してきたところです。

東日本大震災調査特別委員会から報告

宮城東部ブロックの災害廃棄物処理の現状を視察

九月五日、特別委員会は、宮城東部ブロック災害廃棄物二次仮置き場四力所の一つである仙台市宮城野区の東北スチール用地の二次仮置き場を視察しました。

各委員は、担当者から処理業務の全般説明を受けた後、各処理施設を回って処理工程を視視し、処理施設ごとに説明者と各委員との質疑応答を行い、処理の現状を確認しました。

この施設では、本市、塩竈市及び七ヶ浜町の二市一町の災害廃棄物五十一万五千トン、津波堆積物七万八千方メートルのうち、災害廃棄物二万八千トン、津波堆積物七万八千方メートルの破碎・選別・焼却等の処理が見込まれ、平成二十五年七月末に完了する予定です。



# 察報告

## を調査しました。



被害が大きかった奥尻町青苗地区に設置された避難誘導路

本委員会は、七月十日から七月十二日までの三日間、北海道函館市及び奥尻町を視察しました。調査項目は、函館市が「函館市地域交流まちづくりセンター」の管理運営状況について、奥尻町が「震災からの復旧・復興について」です。以下、その成果について報告します。

### 函館市地域交流まちづくりセンター

施設の閉館時間は、原則午前九時から夜九時までとなっていますが、朝早くから対応しています。利用者によっては閉館が午前零時を過ぎることもあるそうです。休館日は年末年始だけ。あくまでも利用者の立場により添った運営をしていることが感じ取れました。

### 奥尻町の復興

奥尻町は、十年の間に二回津波に遭いました。その経験を基に、海岸近くに人工の避難所を設置し、市街地は盛り土をして高くし、そのすぐ上には高台があり、高台への通路も短距離間隔で数多く設置されるなど、地震が来たらすぐに高台に逃げられるように街全体が整備され、大変感心しました。



また、どこまでも続く高さ十一メートルの防潮堤を見て、この防潮堤なら津波の威力をかなり軽減できるのではないかと感じた次第です。

奥尻町の復興計画は、十年間の計画でしたが、五年間で復興を成し遂げ、本会議の席上で復興宣言を行っています。これは行政と町民が一体となり推進した結果であることは論を待たないところです。また、総額百九十億円にも及ぶ義援金のおかげで復興財源を心配することなく、市街地の形成、被災者支援、事業者支援、学校の建設、集会所の建設など様々な復興事業が推進できたものと思われまます。

本市に届けられた義援金は、奥尻町よりはるかに少ない状況ですが、復興にあたっては、国の復興交付金等を有効に活用しながら、あわてることなく着実に遂行することが肝要です。

これから重要な復興事業が軒並み推進されていくこととなりますが、防潮堤の整備や六層のかさ上げをして市街地形成を行った奥尻町の復興は、まさに本市の多重防衛の推進と宮内地区における復興のお手本となるものであり、参考にすべき点が多くありました。





## 県外の優れた事例

### 建設水道常任委員会



兵庫県神戸市の自転車レーン

建設水道常任委員会は、

七月十三日から二泊三日で兵庫県神戸市を中心に視察を行いました。阪神淡路大震災からの復旧を始めて十七年が経過したまちの姿を肌で感じ取り、現行の災害対策基本法の下で復旧した場合の多賀城市の未来と照らし合わせることで、改めるべきは改め、よい部分は継承するということが大切であるとの思いから先進地を選定しました。

### 現地の皆さんの生の声を聞きながら調査

視察項目は自転車道の整備、都市景観のあり方、災害公営住宅の整備手法です。昨今の交通事情や健康志向により、自転車利用者が増加傾向にあることから、既存の道路をフル活用し、カラーペイント等の手法により自転車道を確保し

ている事例を学びました。

そして、多賀城市内の道路にも採用できる手法があることを確認しましたので、今後は「自転車道整備計画」を作成するよう取り組んでいきます。また、自転車利用者に対して交通マナーの重要性を同時に啓発することで、歩行者等に対してもさらなる安全安心な取り組みができていくことを再認識しました。



都市景観のあり方としては、地域住民発意のまちづくり懇談会をはじめ、古き良き都市像をどのように次世代に繋いでいくかなど、地元住民の方との意見交換をはじめ有意義な学びとなりました。災害公営住宅の整備にも様々な手法があり、具体的にどの手法を用いることが被災市民にとって有益なのかを学び、今後本市が直面

すると思われる公営住宅の諸問題解決のヒントを得てきました。

### 視察報告会で当局と情報の共有

視察後の八月二十七日には、常任委員会として初めて視察報告会を開催しました。建設部の職員と先進地視察での成果を伝え、意見交換を行いました。担当部署との情報共有を図ることで今後の政策議論に深まりが出ることは言うまでもありません。

建設水道常任委員会では「震災前より一歩前進した復旧を成し遂げる！」をスローガンに今後も現地現場主義を貫き、活発に取り組んでいきます。



# 行政視察報告

## 文教厚生常任委員会



事業推進のため様々なプロジェクトを作り、子どもの給食に対する関心を強めてきた事業は、試食した給食のおいしさとともに、たいへん参考になりました。

②兵庫県芦屋市「震災復興計画中『社会福祉の充実』」では、様々な福祉事業のうち、災害弱者といわれる方々と市民みんなが笑顔で集える場所として設立された「芦屋市保健福祉センター事業」の取り組みについて調査をしました。

七月十八日から二十日まで、東京都足立区「おいしい給食推進事業」、兵庫県芦屋市「震災復興計画中『社会福祉の充実』」、兵庫県神戸市「市民福祉復興プラン」、兵庫県神戸市「小中学校の防災教育」の行政視察をしました。

①東京都足立区「おいしい給食推進事業」では、「子どもたちの笑顔のために日本一のおいしい給食を目指すこと」を目的にしており、決して子どもの好きなものだけをメニューに取り入れられたり、ぜいたくをさせることではなく、給食を通して作り手に対する感謝や、栄養に関する基礎的な知識を学ぶ取り組みを強めています。学校給食専門の担当者が食育

③兵庫県神戸市「市民福祉復興プラン」で特に印象に残ったのは、阪神淡路大震災直後の神戸市の要援護者への取り組みです。高齢者や障がい者を対象とした寮形式の地域型仮設住宅を建設していました。また、緊急に援護が必要な方を受け入れる「一時受け入れ施設」や障がい者緊



急ケアセンターを設置して、避難所などでの生活が困難な方とその家族の受け入れを行っていました。

本市でも震災時には、障がい者の方々はむろん、市民も行政も大混乱をきたしましたが、行政においては、神戸市のようなスピード感のある支援策を発想するため、日常的にその感性を養うことも大事なことだと感じました。

④兵庫県神戸市「小中学校の防災教育」では、阪神淡路大震災後、副読本「しあわせはこほう」を発行し十七年経過した現在もしっかりと防災教育を実施しております。

以上、今回の視察で勉強してきたことを、今後の委員会活動に大いに反映させて参りたいと考えています。

## 多賀城のおいしい給食は？

足立区での給食の視察後、委員会では本市の給食の実態を把握するため、本市の給食センター（ドリームランチ多賀城）を調査しました。中学生用の給食（実費二九〇円を支払う）を試食してみました。十月四日（一〇四イワシ）はいわしの日ということで、いわしのオレンジ煮、里芋のそぼろ煮、呉汁、ごはん、牛乳というメニューでした。

栄養のバランスも良く、ごはんも中学生の旺盛な食欲を満たす量で、一食七七三口カロリーのボリュームでした。足立区の給食に勝るとも劣らない内容でした。



●表紙のテーマを刷新

# 子どもたちのすてきな活動にカメラのフォーカス



毎週月曜日と金曜日の昼休みに節電を呼びかけるエコレンジャーが全クラスに参上

表紙を毎回かわいい笑顔で飾ってきた「双子ちゃんシリーズ」。回数が増えるたびに、市民のみなさまから好評をいただきましたが、八十号をもって終了しました。  
「ご協力をいただきましたみなさまに、心から感謝申しあげます。」

八十一号からは、市内の小中学校十校の特徴ある取り組みをご紹介します。

八十一号の表紙を飾るのは、東豊中学校のエコ活動。今年で五年目を迎える環境戦士「エコレンジャー」のみなさんです。

東豊中学校では、南太平洋に位置するツバルが抱えている海面上昇の講演（講師・写真家の遠藤秀一さん）をきっかけに、「中学生に何ができるか？」を、各学級会で話し合い、生徒会での具体的な活動を決定しました。今ではすっかり定着した「エコレンジャーinみやぎ2009年Eco de スマイルコンテスト」で優秀賞を受賞しました。

生徒たちが楽しみながら主体的に取り組む姿がとても印象的でした。個々の意識がとぼみから大きな花となりました。もっ

と大きな花を咲かせてください。期待しています。  
レポーター 米澤

## ツバルと海面上昇

ツバルは、南太平洋に位置する小さな島国です。近年の地球温暖化で海面が上昇し、水没する心配が…。



左から平山生徒会長、板橋副会長、真壁副会長

- |           |          |          |
|-----------|----------|----------|
| 3年 似田 良和真 | 3年 板垣 亮平 | 3年 太田 健生 |
| 3年 斎藤 絵染  | 2年 村上 優斗 | 2年 高橋 歩  |
| 2年 阿部 巧   | 2年 真壁 巧  | 3年 板橋 海飛 |
- (敬称略)



# 追跡レポート

## 仮設住宅は、今…

あの大地震から1年8カ月。多賀城公園野球場など、市内6カ所に県の事業として373戸建設された仮設住宅は、当初、様々な問題を抱えていました。

今はどのようになっているのでしょうか。

まず、「周辺の通路に砂利が敷かれ、歩きにくく危険だ」の住民の声にこたえ、早速、簡易舗装がなされ、歩きやすくなっています。

次に、「雨が玄関から直接部屋に入る」とか「靴を外に置くしかなく、雨で濡れる」の声には、風除室が設置されました。また、冬になると「寒くて眠れない」など寒さ対策を求める声が多く寄せられ、これには二重サッシを取りつけ、何とか寒さをしのげるようになっています。

しかし、「お風呂の追い焚き機能」の工事はなかなか進まず、「今年の冬にも間に合わないのか」と心配しましたが、10月初旬には全ての仮設住宅に、追い焚き機能が完備しました。これでこの冬は暖かいお風呂に入れますね。今回の経験を踏まえ、次の災害時における応急仮設住宅のお風呂は、追い焚き機能付きが標準設備となることでしょうか。

そして、最も心配な「孤独死対策」は、今年3月ごろ、希望する197世帯に、非常警報設備パトライトが設置され、まずは一安心です。この装置は、非常の際に、屋内設置のブザーを押すと非常を知らせる音と共に屋外設置のライトが点滅し、外部に異常をしらせることができます。昼間の対応は、管理会社が行い、夜間、休日などは自治会と市の担当者が対応することになっています。どうか孤独死という悲しい事態がおきませんようにと願うばかりです。その他、ドアチャイムが367戸に、物置は全ての仮設住宅に設置済みとなっています。建設当初と比べるとだいぶ住みやすくなったと思いますが、いかがでしょうか。

間もなくやって来る冬への備えも、被災者共通の将来への不安も、ひとりで抱えることなく、みんなで分かち合って少しずつ前を進んでいきましょう。

レポーター 戸津川



仮設住宅に設置されたパトライト

### 編集後記

記録的な暑さが続いた夏の記憶も薄れ、秋の季節となりました。秋と言えばスポーツの秋、読書の秋、食欲の秋、芸術の秋などと言われるように、肩書きのつきやすい季節です。皆さんはどのような秋をお過ごしですか。

私は学生時代、吹奏楽部に所属していました。今でも、一般社会人バンドの皆さんと交流が続いています。どうすれば、楽器の演奏が上達するのでしょうかと、あるオーケストラの指揮者に質問したことがあります。

彼は、「上手な人と一緒に演奏するのが一番です」と。上手な人の響きにつられ、いつの間にか演奏ができるようになってしまうそうです。「楽しい人」や「明るい人」と話すと、自然と楽しくなるのと同じで、人間は、人間との触発の中でこそ大きな飛躍を遂げることができます。

「議会だより編集委員会」から責任と権限を持つ「広報特別委員会」となつて初めての議会だよりです。復興に向けて飛躍していく市議会の取り組みをわかりやすくお伝えできる「議会だより」を目指します。

#### ● 広報特別委員会

- 委員長 米澤まき子
- 副委員長 伏谷修一
- 委員 戸津川晴美
- 委員 江口正夫
- 委員 阿部正幸
- 委員 昌浦泰巳

(阿部)